

平成22年度第3回秋田大学経営協議会議事要旨

日 時 平成22年9月17日（金）
（第1部）13：30 ～ 14：40
（第2部）14：43 ～ 15：15

会 場 本部管理棟3階 第1会議室

出席者 吉村学長（議長），小山田，平山，渡邊，對馬，後藤，新開，茆原，熊田各委員

監 事 渡部，小林各監事

陪 席 吉岡，井上各理事理事，池村教育文化学部長，本橋医学系研究科長，西田工学資源学研究科長，大好附属図書館長

欠席者 小笠原，錢谷，根岸各委員

【第1部】

議 事

1. 平成22年度第2回経営協議会議事要旨の確認
平成22年度第2回経営協議会議事要旨が確認された。
2. 審議事項
 - （1）国立大学法人秋田大学における教育系職員の任期に関する規程の一部改正について
對馬理事から資料により説明があり，了承された。
3. 報告事項
 - （1）国立大学法人秋田大学職員の育児休業等に関する規程等の一部改正について
對馬理事から資料により，報告があった。
 - （2）平成22年度人事院勧告について
對馬理事から資料により，報告があった。
 - （3）平成21事業年度及び第一期中期目標期間に係る業務の実績に関する国立大学法人
評価委員会ヒアリング
熊田学長特別補佐から資料により，報告があった。
 - （4）平成23年度概算要求事項について
後藤理事から資料により，報告があった。
なお，委員から以下のような意見があった。
 - ・重点的に理系分野に予算がついているので，理系がらみの予算を増やすというやり方もあるのではないか。

- ・運営費交付金の中で、「メディカル・イノベーションを担う国立大学附属病院の教育研究の充実強化」という項目があるが、医療の中身そのものを産業的に考えるのはどうかと思う。充実強化の意味合いはどのようなものか。

(5) 秋田大学（手形地区）総合防災訓練について
後藤理事から資料により、報告があった。

(6) 平成21年度監事監査報告書について
渡部監事から資料により、報告があった。
なお、委員から以下のような意見があった。

- ・大学病院の経費率が高い要因として、高度医療に伴う材料費等や未収金の問題のほかに、消費税の問題があると考え、大学側としてはどのように対応されているのか。

(7) 平成22年度監事監査計画書について
渡部監事から資料により、報告があった。

(8) 経営協議会における意見の対応状況について（平成22年9月17日現在）
学長から資料により、報告があった。

【第2部】

(1) 学術研究・産学連携について

井上理事から資料により本学の学術研究及び産学連携等について説明があり、学外委員から以下のような意見が出された。

- ・産学官の連携はイノベーションの大きな道具になる。そのための体制も出来てきたので、今後はロードマップをいかにして共有できるかが大切である。ネットワークを通じて良い方向に進むことを期待する。
- ・共同研究については、大学の産学官と公的研究機関がある。企業サイドから見ると、最終的な事業化や商品化への意識は後者が強い。大学もそのような意欲をもってほしい。事業化や商品化等に結びついた先生の学内の評価についてのウエイトも考慮すべきだ。

◎その他連絡事項

- ・次回の経営協議会については、11月下旬に調整させていただく旨連絡があった。

以 上